

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

|                                  |  |            |
|----------------------------------|--|------------|
| 名称：キッズフォレ東山田                     | 種別：認可保育所   |            |
| 代表者氏名：岡本 悦子                      | 定員（利用人数）：60 名  |            |
| 所在地：〒224-0023<br>横浜市都筑区東山田町322番地 |  |            |
| TEL：045-548-4044                 | ホームページ：<br><a href="https://www.kidsfore.co.jp/">https://www.kidsfore.co.jp/</a> |            |
| 【施設・事業所の概要】                      |  |            |
| 開設年月日：2015年04月01日                |  |            |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社キッズフォレ       |  |            |
| 職員数                              | 常勤職員：16 名  | 非常勤職員：18 名 |
| 専門職員                             | （専門職の名称）： 名  |            |
|                                  | 保育士：19 名   | 看護師：1 名    |
|                                  | 管理栄養士：1 名  | 栄養士：1 名    |
| 施設・設備<br>の概要                     | （居室数）  |            |
|                                  | 保育室4室  | 調乳室1室      |
|                                  |  | 調理室1室      |
|                                  |  | 事務室1室      |
|                                  |  | 休憩室1室      |
|                                  | 園庭   |            |

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

●子どもの幸福が私たちの願いです。子どもの権利を尊重し、家庭や地域社会と力を合わせて、全ての子ども達にとって安全で安心の居場所となる保育と教育環境を目指します。

●日本文化や和の心を大切にします。

●グローバル社会の中で自立できる人間像を目指し、子ども達の心身や個々の素質が育つ環境を大切にします。

●キッズフォレのスタッフは、保育業務を通して社会に貢献することを使命とします。

## &lt;基本方針&gt;

1. 豊かな人間性・自主性をもつ子どもを育成する。
2. 家庭や地域社会と力を合わせて、心身ともに健康な子どもを育成する。
3. 良質な給食の提供を通して、自然の恵みを大切にする心を食育から学ぶ。
4. 五感を育てる環境づくりを大切にする。
5. 日本文化を学びつつ、世界を視野に入れたグローバルな環境づくりを大切にする。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

＜キッズフォレ東山田の特徴的な取り組み＞

1. 「すべては本物から、すべては遊びから」という行動指針に沿って、遊びを通してたくさんの経験を重ね、本物に触れることから、子どもたちが様々なことを学んでいけるような環境を提供している。
2. 「子どもの主体性」を大切に考え、心を育てる保育、自立心・想像力を育てる保育を実践している。
3. インスタグラムやドキュメンテーションなどを通して、ご利用者や地域社会へも情報提供している。

#### ⑤第三者評価の受審状況

|               |  |
|---------------|--|
| 評価実施期間        | 2020年11月27日（契約日） ～<br>2021年03月26日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 1回（2015年度）                                 |

#### ⑥総評

【キッズフォレ東山田の概要】

●キッズフォレ東山田は、株式会社キッズフォレ(以下、法人という)が運営している認可保育所です。同社の設立は2002年で、現時点では、認可保育所5箇所と横浜保育室1箇所を運営しています。キッズフォレの保育園では、独自の幼保一体型教育プログラムを導入し、五感を育てる保育、非認知能力を高める保育・教育活動を中心に、子ども達の育成に努めています。

●キッズフォレ東山田は、横浜市営地下鉄グリーンラインの東山田駅から徒歩2分程度のところに位置しています。現地周辺は市街化調整区域ということもあり、商店は見られず、畑が多い立地です。園のすぐ南には早渕川が流れ、園に隣接するのは1軒の民家と、企業の社屋1棟のみで、現状、近隣との関係で保育活動を制限する必要はありません。園舎は2階建てで、建物全てを保育園として利用しています。園舎の前には園庭があり、一部は砂場にもなっています。

◇特に評価の高い点

1. 【強く生きるための「人間力」の育み】

●乳幼児期は、人間形成に大きな影響を与える時期です。キッズフォレ東山田では、子どもたちが、たくましく自立し、強く生きられるような保育に努めています。「人間力」の具体的なビジョンとして、①知力、②国際力、③体力、④創造力、の4つを重視しています。「知力」を育むために、調理実習、工作、大工仕事等、手と頭を使うことで、能力発達を促しています。「国際力」を育むために、0歳児から外国人の先生と遊ぶ中で、英語に親しむ機会を作っています。併せて、美しい日本語の読み聞かせもふんだんに行い、日本文化に触れることも重視しています。「体力」では、身体能力、柔軟性、空間認識能力を養うために、体を動かす活動を多く取り入れ、「想像力」では、歌ったり、踊ったり、様々な楽器に触れたりと五感を刺激することで豊かな表現力を身に付けています。

2. 【「本物」を重視した保育活動】

●キッズフォレ東山田では、「生きる力」すなわち「人間力」を育てることを保育方針としていますが、そのための方法として、「五感を育てる」、「五感を刺激する」ことを重視しています。そして、五感の育て方としては、「本物に触れる」ことを基本に置き、例えば魚についての学習や、ひまわりの観察をする際は、写真や絵ではなく、本物

の魚やひまわりを用意します。そして、子どもたちに、実物を見て大きさや色を確認してもらい、においを嗅ぎ、実際に触って、硬い・柔らかい・ヌルヌルしている・ザラザラしている等の細かな感触を確かめるように促しています。他にも、英語の学びは、ネイティブスピーカーの講師に、また、音楽であればプロの音楽教師に指導してもらう、というように、専門家に指導を依頼しています。子どもたちは、プロの教師が実演する高いレベルの「本物」の発音、歌、演奏、ダンス等に触れ、さらに、プロ教師の振る舞いから薫陶も受けています。そして、研究された指導法に裏付けられたメソッドにより、学びの着実な定着が見込めます。

### 3. 【給食に対するきめ細かい取り組み】

●園の給食は、専属の管理栄養士が献立を作成し、食材調達及び調理を自園で行う自園調理給食を徹底しています。食材は、地産地消の方針のもと、地元の新鮮な野菜を中心に調達しています。肉や魚、調味料等も含め、食材は、良質で、かつ添加物・着色料・防腐剤等を使用していない物を仕入れるために、調達先は複数の仕入先を確保しています。子どもたちに多くの種類の食材を味わってもらうために、料理の見た目も重視し、食欲をそそるような彩り・盛り付けを心がけています。園では、給食の質を確保するために、毎月1回、園長と給食室メンバーとで構成する「給食室会議」を開いています。栄養士は、この会議に加えて、系列園の栄養士が集まる「栄養士会議」にも毎月出席し、園での喫食の状況等を報告すると共に、他園の情報を入手して、献立作成及び食材調達等に生かしています。

#### ◇改善を求められる点

##### 1. 【理念、保育方針の文言の統一化】

●理念、保育方針について、「ご利用案内（重要事項説明）」、パンフレット「キッズフォレグループ 認可保育所のご案内」、キッズフォレのホームページ、「ここdeサーチ」サイトのキッズフォレ東山田の詳細ページ、に掲載されている文章を見比べると、理念・保育方針とも、文言・表記等の相違があります。理念、保育方針は、法人、保育園の使命や目指す方向、考え方を示すものであり、媒体によって内容や形式の違いが見られると、入園希望者や保護者に戸惑いや混乱を招くことも考えられます。表現が多岐に亘るのは、法人と園が発信したい「保育への想い」が溢れているためとも推察されますが、一貫した姿勢を貫くためにも、理念、保育方針は、どの掲載媒体においても、終始、統一化した文章を掲載することが望ましいと思われれます。

##### 2. 【園の持つリソースの地域への提供】

●地域との関わり方について、(A)保育園が地域に入っていく、(B)保育園が地域の方を受け入れる、という軸と、(1)地域のリソース（資源）を受け取る、(2)地域に保育園のリソースを提供する、という軸とをクロスさせて2×2マトリックスを作成し、キッズフォレ東山田の現状の関わり方を当てはめてみると、今後の地域交流の在り方が見えてくると思われます。(A1)地域に入り、地域のリソースを受け取るという関わりですが、夏祭りに参加する、ハロウィンでお菓子を貰う、農家から野菜をいただく、近隣の会社から球根を譲り受ける等の実績があります。(A2)園に招き入れ、地域のリソースを受け取る、という関わりについては、地域の方に第三者委員を引き受けていただくという実績があります。しかし、地域の方を招いて、得意とする分野を披露していただく等の取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現在、行われていません。(B1)地域に入り、園のリソースを提供する、という関わりでは、かつては、老人施設を訪問し、園児が歌や遊戯を披露する催しがありましたが、コロナ禍により自粛している状態です。(B2)地域の方を受け入れ、園のリソースを提供するという関わりについては、現状では、

育児相談制度(すくすく相談)を設けていますが、利用者は少ない状況です。こうしてみると、園のリソースを地域に提供する形の関わりが少ない様子が伺え、今後は、この部分について取り組みを強化することが望まれます。園は、砂場付きの園庭を保有しているため、園庭開放、離乳食等に関するプチセミナーを組み合わせた催しを開催すると共に、その参加者から困りごと・要望等を聞くことで、次に提供するリソースに反映させるといった取り組みも検討に値すると思われれます。地域貢献・社会貢献の観点からも、園の持つリソースの提供の在り方について、さらに工夫されることを期待いたします。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：キッズフォレ東山田

##### <評価に取り組んだ感想>

全職員で第三者評価に向けての取り組みを行うことにより、保育の現場に、新しい視点と気付きを持つことが出来ました。保育理念、方針、目標に対して、その思いに添った保育を実践できていたか、気付きや反省が書類上だけになっていなかったか等、考える良い機会となりました。また、運営や保育環境を含む施設面に関しても、本部との連携や、自分自身が何をすべきことなのか課題も見えてきました。

評価で頂いた結果をどのように反映させていくか、実施後の職員の維持向上に向けて、どのように取り組んでいくか等、保育園機能と保育者の専門性の向上に向けて、子ども達の幸福を一番に考え、頑張っていきたいと思えます。

たくさんの気付きと学びをありがとうございました。

##### <評価後取り組んだ事として>

1. ボランティアの受け入れ、実習生の受け入れに関して、来年度の計画に明記し、マニュアルの整備を行っていかうと考えています。地域との交流の中で、園庭開放等も視野に入れてはいますが、新型コロナウイルス感染症の影響もある為、様子を見ながら行っていきたいと思えます。

2. 今年度はふれあい広場の開催がなかった為、子育て相談の機会も作れませんでした。今後はそういう場も利用しながら、広報活動も広く行っていけたらと思えます。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり